

免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けられる方へ

免疫チェックポイント阻害剤※による副作用は、症状の種類や起こる時期もさまざまです。なかには重篤な副作用もあり、早期発見・早期対応が重要になります。

以下の症状が認められる場合には、すみやかに受診してください。

※当院採用の免疫チェックポイント阻害剤

：オプジーボ、キイトルーダ、テセントリク、イミフィンジ、バベンチオ、ヤーボイ

- 38度以上の発熱がある
- 咳や息切れ、息苦しさがある
- 下痢や腹痛、血便が認められる
- ひどいだるさを感じる、動けないほどのだるさがある
- 手・足に力がはいる
- ものが二重に見える
- 手・足、体に発疹があらわれた
- その他 よくわからないが、なんだか調子が悪い

<平日の場合>

※可能な限り、平日、日中の対応をおすすめします

□ 各診療科外来へお問い合わせ、ご相談下さい

□ 電話で伝えることは

『お名前、主治医、免疫チェックポイント阻害剤を使用していること、

気になる症状（いつから、どのように、どれくらい）』

☎代表 011-681-8111

電話相談は、各診療科 月曜日～金曜日 8:40～17:00

外来受付時間は（原則）平日 8:40～11:30

<夜間・土日・祝日の場合>

□ 直接、ご来院下さい。まずは救急外来（365日、24時間体制）が対応致します

□ 救急車要請をせざるを得ない場合には、救急隊員に「免疫チェックポイント阻害剤を使用していること、症状があるときには溪仁会病院を受診するように言われていた」ことを伝えて下さい